

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

## 「平成29年度生田緑地マネジメント会議」第4回運営会議開催

平成30年1月25日（木）18時00分から、生田緑地東口ビジターセンター2階多目的スペースにおいて、平成29年度第4回運営会議が開催されました。

はじめに来期の新たな指定管理者の紹介があり、会議では、協議事項として『平成29年度の全体会について』、『ブランド化の検討について』、『自然の保全・利用方針の追加について』について話し合いました。また、報告事項として『自然会議からの報告』や『おもてなしプロジェクトからの報告』、『多摩区まちづくり協議会からの報告』、『倉本会長の「とうきゅう環境財団「第9回社会貢献学術賞」受賞について」などがあり、各会員の立場から、活発な意見交換が行われました。

続いて会員の多摩川エコミュージアムから国土交通省『手づくり郷土賞』の受賞報告がありました。

### ● 議事概要 ●

#### 1. 協議事項

- 平成29年度の全体会について
- ブランド化の検討について
- 自然の保全・利用方針の追加について

#### 2. 報告事項・その他

- 自然環境保全管理会議からの報告
- おもてなしプロジェクトからの報告
- 緑のサロンの開催報告
- 多摩区まちづくり協議会「多摩★まち café」について
- 倉本会長 とうきゅう環境財団「第9回社会貢献学術賞」受賞について

#### 4. 会員からの報告

- 多摩川エコミュージアム 国土交通省「手づくり郷土賞」受賞報告

### 1. 協議事項①平成29年度の全体会について

本年度の全体会議の流れを確認し、「生田緑地マネジメント会議5年間の総括について」報告する事から、「生田緑地マネジメント会議5年間の振り返り」として、「この5年間で出来たことと出来なかったこと」について意見を頂きました。また、「生田緑地マネジメント会議5年間の総括」をとりまとめ、会員の方々に報告するとともに、パネルディスカッションでは、参加団体の活動を発表して頂くとともに、参加者による意見交換など行う事としています。

### 協議事項②ブランド化の検討について

まず「生田緑地ビジョン」の再確認と「第3回運営会議のおさらい」をして、今後の展開の方向性を議論しました。併せて、現在の生田緑地マネジメント会議の情報発信の状況を確認し、参考となる他の類似団体の情報発信やチラシの事例を見て検討しました。

### 協議事項③自然の保全・利用方針の追加について

事務局から本方針の変更案として「東地区・公園施設等利用エリア」に「通称まみあな公園については、地域の集いの場、ばら苑散策ルート of 憩いの場として適切な管理を行う」事を追加することについて説明がありました。尚、同方針案をマネジメント会議の案として、市に提言しました。

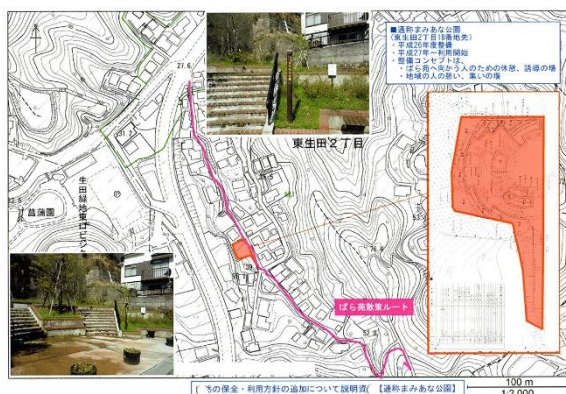
### ○第4回運営会議の様子



### ○来期の指定管理者の紹介



### ○追加箇所図 通称「まみあな公園」



## 2. 報告事項①おもてなしプロジェクトのからの報告

松岡おもてなしプロジェクト会議会長より、「食のおもてなしについて」では「生田緑地『食』の推奨メニューのチラシを作成し、生田緑地ピクニックマルシェ（11月12日）にて岡本太郎にちなんだおにぎりの販売への協力や「出入口のおもてなし」における現地調査（11月8日）、ばら苑の現地案内を向ヶ丘遊園南口（10月28日）で実施した報告がありました。

## 報告事項②緑のサロン開催報告

倉本会長の研究室に所属する明治大学農学部4年生の三浦らすなさんと研究室の学生さんの協力により、生田緑地で実施した調査研究「自然のおもしろ発見～自然を感じる、表す、共有する～」を緑のサロンの参加者が体験するという企画を実施しました。いつもの会議とは違った楽しい時間を過ごすことが出来ました。

## 報告事項③多摩区まちづくり協議会

多摩区まちづくり協議会の本多さんより、「多摩★まちcafé 生田緑地をまるごと楽しもう」（3月21日）開催のお知らせがありました。「生田緑地の自然の魅力～自然と人のかかわり」で生田緑地整備事務所の矢口さん、「多様な主体をつなぎ・創り上げる魅力あるイベント」で生田緑地運営共同事業体の額谷さん、「生田緑地のおもてなし」では、生田緑地マネジメント会議副会長の松岡さんが報告します。

## 報告事項④倉本会長 とうきゅう環境財団「第9回社会貢献学術賞」受賞について

多摩区生田緑地マネジメント会議 倉本会長が多摩川及びその流域の環境改善・保全を図ることを目的とした「とうきゅう環境財団」から「第9回 社会貢献学術賞」を受賞されました。11月20日に授賞式があり、本会からは副会長の松岡さんが出席されました。倉本会長からは「自分が市民だということを忘れないように研究してきました。この場合も含めて、市民の方々と一緒にいろいろなことをやってきたことを評価して頂き、この度こういう賞を頂きました。ひとえに皆様方のおかげなので、有り難うございました。」というお話があり、一同、拍手してお祝いしました。

## 3. 会員からの報告

NPO法人多摩エコミュージアムの升田さんから、これまでの活動内容や国土交通省の「手づくり郷土賞」受賞の報告がありました。

### ■今後のスケジュール

#### ○平成29年度全体会議

・3月21日（水）15：00 場所：かわさき宙と緑の科学館 2F

●お問い合わせ先：生田緑地運営共同事業体 TEL 03-3205-5787 FAX 03-3205-5862

川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL 044-934-8577 FAX 044-934-8578

## ○プロジェクト会議ニュースレター

### 生田緑地マネジメント会議 第19号 プロジェクト会議 ニュースレター

1. 平成29年度第3回 おもてなしプロジェクト 第3回おもてなしプロジェクト会議では、「食のおもてなしについて」は、「出入口のおもてなし」は、現地案内についてお話ししました。この会議後に質疑応答を行いました。

日時：2017年10月20日（金）14:00~17:30  
場所：かわさき宙と緑の科学館2F 2F 2階  
参加者：16名

【1】「食」のおもてなしについて  
（会議後に実施した取材について）

生田緑地の駅長施設と併設した「高草めまメニュー」に基づいて、「生田緑地」の推奨メニューのチラシを作成し、向ヶ丘遊園南口におけるばら苑の周辺（10月28日）やピクニックマルシェで配布しました。ピクニックマルシェ（11月12日）では生田緑地にちなんだおにぎり1袋ずつは「バフハラの」の取柄が印刷されました。各店舗等で、売りが「推奨メニュー」をマークして掲載し、メニューも印刷しました。今後、プロジェクトでは「食」の新たな生田緑地における取柄も検討していただければ幸いです。

【2】「入口名称」のおもてなしについて

第3回 国体選考会において、生田緑地の中心部（山）について名称を付けることになりました。その案の検討のため、おもてなしプロジェクトのメンバーより、現状の出入口の状況の第1回の調査が、11月8日に実施されました。今後、別名とする全ての出入口を調査し、その結果をとりまとめ、出入口の名称とどこに、何の名称を付けるか（あり方（提案））などの調査を進めていきます。

【3】ばら苑の現地案内

ばら苑の現地案内を10月28日に向ヶ丘遊園南口にて実施しました。他の案内から生田緑地を案内する方が多かったです。他の方にもばら苑の案内や生田緑地の「食」の情報を伝えることが出来ました。



## ○緑のサロン報告

# 緑のサロン

生田緑地マネジメント会議 緑のサロン実行委員会 日時：2017年11月16日 18:00～  
場所：生田緑地ビジターセンター2F

2017年度の緑のサロンは、明治大学と多摩区の連携事業の一環として実施された「自然のおもしろさ事業」において、明治大学農学部4年、三浦らすなさんが生田緑地で実施した調査研究、「自然のおもしろ発見～自然を感じる、表す、共有する～」(8月2～16日)を「緑のサロン」参加者が体験するという企画を実施しました。

明治大学4年三浦らすなさん 三浦さんが生田緑地マネジメント会議会長の倉本先生の研究室に所属していることから、先生と研究室の学生さんのお手伝いもあり、身近な植物を素材として、いろいろな植物や環境の話聞きながら、「すてき・なぜ・つかえる」、「私が考えた○○」、「そっけいね！発見」などの題材に基づいて、思い思いの方法で各自が感じたことなどを、配られた資料に書き込みました。

具体的な自然に対する視点や観察の内容については、はじめる前と後でどのような変化があったかのアンケートにも協力しました。

いつもの会議とは違った、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

倉本会長と松岡副会長と三浦らすなさん

「自然のおもしろさ発見」の素材

平成30年1月25日 第4回国体選考会 資料一冊

